

普及だより

令和5年6月 Vol.

115

# くにみ

発行：伊万里農林事務所

西松浦農業振興センター

TEL(0955)23-5128 FAX(0955)23-5138

nishimatsuurafukyuu@pref.saga.lg.jp

## NEWS TOPICS



燃えたぎる若いパワー!!で  
伊万里・有田地区の農業を盛り上げる!!  
伊万里4Hクラブ通常総会、  
一人一課題発表会を開催

伊万里4Hクラブでは、20代  
の若手14名で活動をしてい  
ます。

令和5年3月には、一人一課  
題発表会を開催し、クラブ員が  
自らの経営において、技術力向  
上や経営改善に向けて、設定し  
た課題の取組成果を共有し意見  
交換を行いました。

4月の通常総会では、来賓と  
して出席された山下農業士か  
ら、「4Hクラブは仲間と切磋  
琢磨して、成長しあえる良い場  
所である。クラブ会員のみなさ  
んにはぜひ積極的に足を運んで  
ほしい。」との祝辞をいただき  
ました。

今年度も、経営に関する研修  
会、視察研修を計画しており、  
ますます活動を充実させていき  
ます。新規就農者、これから就  
農する方や農業法人に勤められ  
ている方も入会可能です。是非  
一緒に活動しませんか?興味のある方は、伊万里農林事務所西  
松浦農業振興センターまでご連絡  
ください!





# 稼げる農業の確立を目指し さが園芸888運動展開中

農業者の高齢化や減少が続く中、収益性の高い園芸農業は、今後も成長の可能性が高いため、園芸を中心に振興を図ることがとても大切です。しかし、園芸作物の規模の維持・拡大を図るにも、家族労力や雇用労力が不足、という課題があります。そこで、さが園芸888運動では、JA伊万里が主体となつて「労働力支援」に取り組んでいますので、その概要を紹介します。

## 【技能実習生の受入れ】

令和4年度から、ベトナム人実習生6名が、梨農家等の圃場や各種選果場で栽培業務や梱包出荷作業で活躍しています。

## 【いちごパッケージセンター】

### （以下PC）導入効果実証）

令和5年度、パック詰め作業を共同で行う低コストなPCを整備し、パック詰め作業の労力不足を解消し、単収増や規模拡大にどの程度貢献できるかを実証。今後も稼げる農業の確立を目指し、関係機関一体となつて支援していきます。



## 農家の所得向上、産地の維持・発展に向けて 部会全体で産地計画の見直しを

現在の管内農業の担い手は、60代〜70代の方が大半を占めています。県内各地区で、担い手確保に向けた取り組みが進められていますが、今後も離農者数が新規者や規模拡大者数を上回ることが予想されます。

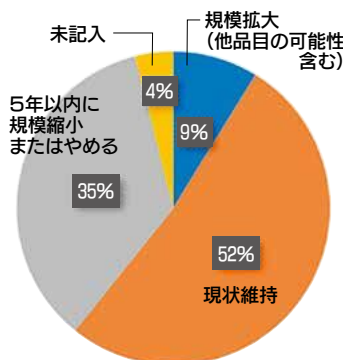
令和元年度には、JA各部会において「産地計画」を策定されています。今回、その内容を見直し、さらに具体的な取り組みを進めていくこととなっています。

産地計画見直しの目的は、再度現状を確認し、産地の維持・発展に向けて目標を設定し、取

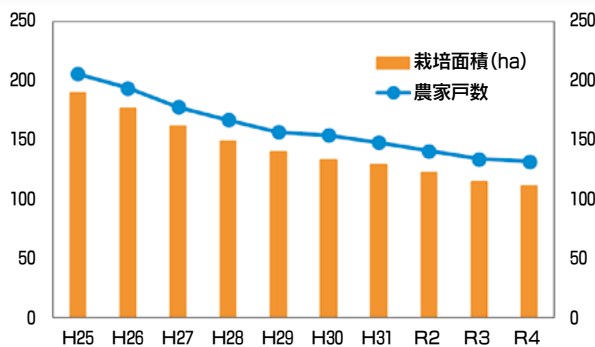
り組みを進めていくことにあります。そのためには、部会の皆さんで意見を出し合つて取り組むことが重要です。

各部会の目標達成に向けて、関係機関一体となり支援を行っていきます。農家の皆さんの所得向上、産地の維持・発展に向けて、部会全体で取り組んでいきましょう。

### 5年後までの経営意向



▲経営意向調査結果(A部会)



▲栽培面積及び農家戸数の推移(A部会)

令和4年度  
佐賀県農業青年冬季のつどい  
農業青年の提言

最優秀賞

丸尾 大介氏  
(大川町)



丸尾氏は令和3年より親元就農し、ナシを1.4ha栽培されており、令和4年度佐賀県農業青年冬季のつどいの提言の部にて「経営なんてこの次? 現実に基づいた24歳の春」というタイトルで経営分析の重要性と今後の自園の展望について発表を行い、最優秀賞を受賞されました。

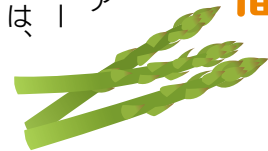
丸尾氏は令和2年に伊万里4Hクラブへ入会し、経営面を学習する重要性に気づき、経営研修会や1人1課題発表等に取り組みことで、クラブ員の仲間と共に経営分析や栽培技術のスキルアップに日々励んでいます。

今後、ますますの活躍が期待されます。

アスパラガス就農  
セミナー開催

令和5年3月12日

(日)に、JJAや市町等の関係機関と連携してアスパラガス就農セミナーを開催しました。当日は、



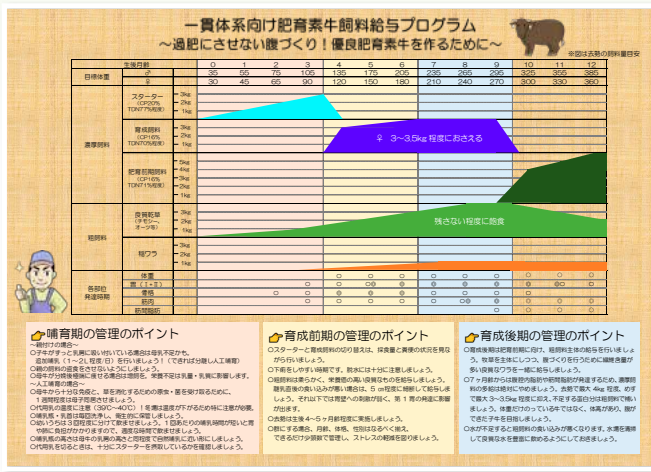
有田町のアスパラ生産者圃場で栽培状況やアスパラ栽培を始めるきっかけなどの体験談の話を聞き、室内で伊万里・有田地区でのアスパラ生産概況、経営指標、就農支援策についての情報提供を行いました。5組7名の方が参加され、「実際に生産者の声を聞くことができてよかった」との声が聞かれました。今後も就農への支援を継続して行っていく予定です。



繁殖・肥育一貫農家向け子牛育成の  
ガイドラインを発行しました

伊万里・西松浦管内で

は、素畜費の低減等を目指すとして、自己の経営内で繁殖(種付け・分娩・子牛の育成)・肥育までを行う一貫経営農家が増えています。肥育専門農家が繁殖部門へ参入する場、課題の一つとなるのが子牛の発育です。標準以上の良好な発育をし、腹づくりがしっかりできた子牛を育てて肥育することで、最終的な枝肉成績の向上が達成できます。そこで、今後新たに一貫経営に参入する方向けに、基本的な子牛の飼料給与方法、管理のポイントをまとめた、「西松浦地域版 繁殖・肥育一貫経営肥育素牛育成ガイドライン」を作成しました。HPに掲載しています。ご不明な点があれば振興センター畜産担当までご連絡ください。



→ <https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00322215/index.html>



# 農大生募集のお知らせ

佐賀県農業大学校では令和6年度入学生を募集しています！

農大の魅力を紹介する「オープンキャンパス2023」の開催日時は下記の通り。

【第1回】7月2日(日) 申込期日：6月22日(木)

【第2回】8月26日(土) 申込期日：8月10日(木)

詳しくは佐賀県農業大学校、または西松浦農業振興センターにお問い合わせください。

お問い合わせ先：農業大学校  
〒840-2205 佐賀市川副町南里1088  
Tel：(0952)45-2144 Fax：(0952)34-7004  
E-mail：nougyoudaigaku@pref.saga.lg.jp

農業大学校ホームページ & Youtubeチャンネルもご覧ください！

佐賀農大の詳しい情報はこちらから

↓

さがのうだい

農大HP  農大Youtubeチャンネル 

## 令和5年度

## 職員紹介

前列(右から)

横山比呂美(経営)  
徳永敦子(普及課長)

早田文博(副センター長)

宮地知子(センター長)

佐伯志津子(農業企画課長)

西美友紀(野菜・花き)

前山美和(果樹)

後列(右から)

山本朝美(畜産)

吉牟田瑠満子(経営)

山口妃鶴(農業企画課)

田中瑛品(作物)

猿野亨丞(畜産)

平野剛史(農業企画課)

亀崎正義(畜産)

山崎晃世(作物)

深原周輔(果樹)

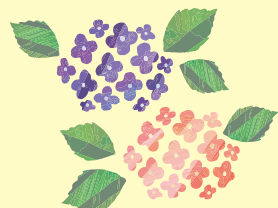
坂本英子(作物)

野口英生(農業企画課)

福田茜(野菜・花き)

外枠(右から)

※東松浦農業振興センターと兼務



私は伊万里市黒川町の素工「農園」で採卵鶏を約1,500羽飼育しています。

伊万里農林高等学校を卒業後、保育士として5年間勤務し、代表の松本が行っている養鶏に魅力を感じ、昨年の4月に就農しました。就農後は生産部長として養鶏場を任せてもらい、日々養鶏を学びながら仕事に励んでいます。自然に近い平飼いの飼育にこだわり、餌は全て国産原料を自家配合している他、地元の野菜残さなどを飼料として食品リサイクルしています。鶏の可能性を活かすことで、自給率やフードロス問題の解消につながるのではないかと考えています。課題も多いですがこうした田舎ならではの環境問題への取り組みを行い、地域に根付いた事業となり田舎から都会へ新しい価値観を提供することを目標に励んでいます。



田中 椋也 氏 (黒川町)

